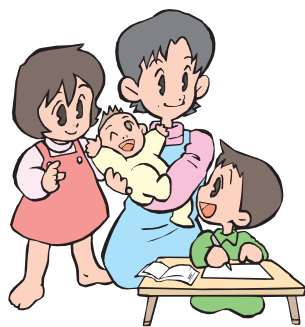


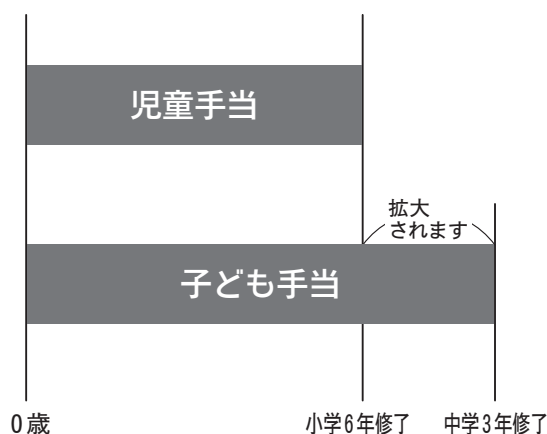
「子ども手当」制度がスタートします

平成22年4月から「子ども手当」制度が始まりました。「子ども手当」は、次の社会を担う子どもの健やかな成長を、社会全体で応援するために支給するものです。

「子ども手当」の概要は以下のとおりとなります。従来の「児童手当」とはいくつか違う点がありますので、対象の方はご注意ください。



■**手当の金額**
13,000円です。

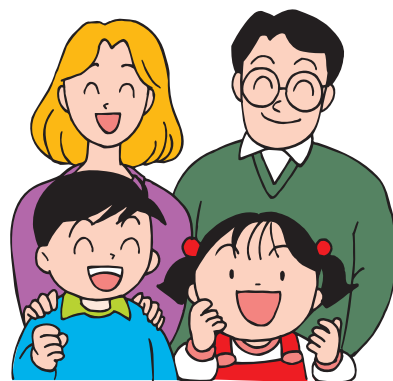


※「児童手当」では、小学校修了前の子どもが対象となっており、所得制限がありました。が、「子ども手当」は、中学校修了前まで支給対象が拡大し、所得制限もありません。

■**支給対象**
中学校修了前の3月31日までです。

■必要な手続き

今年3月まで「児童手当」を支給されていた方は、支給対象児童分の手続きは必要ありません。ただし、新たに該当する子どもがいる場合、町に申請(認定請求)を行う必要があります。



※該当すると思われる方には、すでに役場から通知しています。支給対象なのに通知が届いていないという方は、役場福祉課までお知らせください。

■手当支給時期

6月、10月、2月の年3回です。

※今年6月は、4・5月の2か月の支給となります。10月以降は、4か月分が支給されます。

申請書類

●子ども手当認定請求書

今年3月までに児童手当を受給していなかった方で、新たに支給対象となる子ども(原則として中学2年生、3年生)がいる場合、この申請が必要です。なお、転出される方は、転居先での手続きが必要です。

●子ども手当額改定認定請求書

今年3月までに児童手当の受給が修了した方や、今年3月までに小学6年までの子がいてさらに中学2、3年の子がいる方は、この申請が必要です。

■そのほか

手当のお支払い方法は、原則として口座振込になります。6月に手当の支給を受けるためには、4月30日までの申請が必要です。お早めに手続きをお願いいたします。また、本年9月30日までに申請しないと、子ども手当の受給権を一部失う可能性がありますので、忘れずに申請してください。

手続きの詳細など、わからないことやお問合せは、

役場福祉課福祉係まで

☎ 57-2111 (内線126)

小泊消防署移転 & 薄市保育所民営化

2施設が新たなスタート



旧小泊消防署は、老朽化が進んでいることもあり、町は昨年閉鎖した旧小泊幼稚園の園舎を改修・整備し、新たに敷地内に車庫を整備するなどして、転用のための準備を進めてきました。

すでにある施設を有効活用するという観点からも、このような整備が進められてきましたが、このほど準備が整ったため、小泊消防署は3月29日(月)から新しい施設内で業務を開始しています。

新たにスタートした消防署は、外見上はあまり変わりありませんが、女性消防士・救急

隊員のための専用仮眠室・トイレを設けたり、大小会議室の設置、高規格救急車が余裕をもって収納できる車庫スペースなど、使いやすさや今後の消防活動の充実につながるような建物になっています。また、この改修・整備には県から交付される「合併支援特別交付金」が利用されています。

新小泊消防署の概要

- 敷地面積……5351㎡
- 庁舎面積……624.05㎡
- 車庫面積……237.40㎡
- 構造
鉄筋コンクリート造平屋建(庁舎)
鉄骨造(車庫)
- 配備車両……タンク車1台、積載車1台、高規格救急自動車1台、予備車1台、指令車1台

■加藤豊署長からひとこと■

施設が新しくなり、私たち署員も新たな気持ちでスタートしました。

これまで同様、小泊地域の皆様の安全を守るためがんばりたいと思いますので、今後もどうか消防活動へのご協力をお願いいたします。

薄市保育所の概要と提供されるサービス

- 敷地面積……4,905.56㎡
- 建物の面積……894.32㎡
- 構造……鉄筋コンクリート造平屋建
- 主なサービス
通常保育、延長保育事業、一時預かり保育事業

昭和41年に、地区住民の強い要望から開設された「薄市保育所」ですが、多様化する保育ニーズに因應するため、昨年からの地区保護者の皆様へ説明会を実施し、民営化の準備を進めていきました。このたび民営化の手続きや準備が完了し、4月から「社会福祉法人みちのく会(理事長・吉田節子)」の運営に変わりました。同法人は、富野保育所の運営も行っています。

4月4日(日)には、表紙でも紹介しているとおり、民営化後初めての入所式、あわせて新たなスタートを祝う開所式が行われています。

民営化されたといっても、施設の中は今までと変わりませんし、従来のサービスは今までどおり受けられます。また、新たに延長保育サービス(夜7時まで)を導入するなど、民営化のメリットを生かした施設運営を今後行っていきます。

■川島紀子新所長からひとこと■

春の香りが心地よい4月、薄市保育所が、43人のきらきら輝く瞳、天使のような心を持った子どもたちとともにスタートです。

明るく元気な子ども、思いやりのある優しい心を持った子どもを目標に、私たち職員も子どもたちに負けないよう成長していきたいと思っております。

